第50回高知県文芸賞 受賞一覧

		界50凹間	<u>   知果文芸賞 受賞                                  </u>	<u> </u>
部門	賞	市町村	氏名またはペンネーム(ふりがな)	タイトル(ただし、短歌、俳句、川柳は作品)
	文芸賞	香美市	山﨑 静香(やまさき しずか)	遺影
短編小説	文芸奨励賞	南国市	宮崎 圭輔(みやざき けいすけ)	正午の人々
	文芸奨励賞	南国市	安藝友 知史(あきともともふみ)	臆病者の誓い
	佳作	高岡郡佐川町	片岡 裕(かたおか ひろし)	虎杖の花
詩	文芸賞	高知市	田村 乙女(たむら おとめ)	顏
	文芸奨励賞	高知市	都築 悦子(つづき えつこ)	椅子の存在
	文芸奨励賞	四万十市	小笠原 毅(おがさわら たけし)	孤独の風景
	文芸奨励賞	高知市	前田 高昌(まえだ たかまさ)	ありがとう
	文芸奨励賞	土佐郡土佐町	矢野 ゆかり(やの ゆかり)	望月ノ光
	文芸奨励賞	南国市	田中 ビリー(たなか びりー)	人間
	佳作	土佐市	石川 志津(いしかわ しず)	紅葉の手
	佳作	高知市	大野 仁志(おおの ひとし)	ガイド
	佳作	土佐市	奥村 真眉(おくむら まみ)	目ごとの願い
	佳作	高知市	伊藤 美砂(いとう みさ)	日雇いの歌
	佳作	高知市	千里 目月(せんり にちげつ)	一期一会
	文芸賞	高知市	多田 眞理子(ただ まりこ)	野戦病院を君は知らじな易易と口にするまじコロナと言えど
短歌	文芸奨励賞	高知大学教育学部附属中学校二年	中屋 優菜(なかや ゆうな)	窓側の気持ちいい席ちゃくちゃくと日焼けしていく私の右腕
	文芸奨励賞	高知市	梶原 和歌(かじはら わか)	コロナ禍に有期雇用で失職し職安急ぐ子の背に若葉
	文芸奨励賞	土佐市立高岡第一小学校六年	藤田 あかり(ふじた あかり)	チューリップ家族そろってならんでるまるで私の家族のように
	文芸奨励賞	香美市	公文 正子(くもん まさこ)	穂を孕む稲田吹く風ふところに朝露著き畦草を刈る
	文芸奨励賞	高岡郡中土佐町	川渕 湧三(かわぶち ゆうぞう)	核禁止条約なぜに署名せぬ世界にひとつの被爆国日本
	佳作	土佐清水市	山下 昭文(やました あきふみ)	始発から終点までのバスに乗り海の見ゆればネクタイ外す
	佳作	高岡郡佐川町	うちだ ゆみ(うちだ ゆみ)	ありがとう蒼き世界にママの名を胸に貼られてみどり児眠る
	佳作	清和女子中学校二年	佐野 美麗(さの みれい)	久しぶり外出できたその理由はワクチン接種一回目だけ
	佳作	高知大学教育学部附属中学校二年	山本 莉緒(やまもと りお)	いわし雲わた雲こめ雲かみなり雲「ん?こめ雲?」お腹が空いた
	佳作	土佐市	池田 育子(いけだ いくこ)	ガラス越しの面会時間十五分マスクを外し義母に手を振る
	文芸賞	南国市	中村 竹子(なかむら たけこ)	受験期の子は深海の魚となる
俳句	文芸奨励賞	室戸市	山本 千秋(やまもと ちあき)	柿の木は残すやうにと生身魂
	文芸奨励賞	高知県立高知南中学校三年	植木 穂花(うえき ほのか)	宿題が終わらないよと泣く風鈴
	文芸奨励賞	高知市	浜田 節(はまだ せつ)	出征の兄は十七木の実降る
	文芸奨励賞	高知市	大窪 雅子(おおくぼ まさこ)	鷹渡るをりをり高き礁波
	文芸奨励賞	高知市	島崎 有造(しまさき ゆうぞう)	花びらは日のすべり台福寿草
	<b>佳作</b>	高知市	古田 彩香(ふるた さいか)	暁の闇の深さへ蟬生まる
	佳作	土佐市立高岡第一小学校六年	岡田 璃奏(おかだ るか)	スイスイスイにんじゃみたいなあめんぼう
	佳作	土佐市立高岡第一小学校六年	中脇 柚羽(なかわき ゆずは)	春風が背中をポンと新学期
	佳作	高知市	千里 日月(せんり にちげつ)	蜻蛉の眼に盧遮那仏盧遮那仏
	佳作	須崎市	柴口 美紀(しばぐち みき)	一筋のけもの道より秋の風
	佳作	安芸市	山﨑 葉(やまさき よう)	<b>蓮開く音のけはひや考の息</b>
	佳作	香南市	乾 真紀子(いぬい まきこ)	祝ぎごとと言ふでもなくて栗の飯
	佳作	高知市立春野中学校三年	太田 永吉(おおた えいきち)	応援で友と思いを紡ぐ夏
	佳作	高岡郡四万十町	中森 鶴子(なかもり つるこ)	病葉の栞のページ読み返す
	佳作	高知市	西込 とき(にしごみ とき)	マー人離農の草を刈ってをり
	佳作	高知市	栗坂 海馬(くりさか かいば)	土佐湾の長汀光る良夜かな
	文芸賞	高知市	大野 充彦(おおの みつひこ)	シニアカー少年兵は美しい
川柳		高知市		飽食の国に生まれて火の匂い
	文芸奨励賞		吉尾 光生(よしお こうせい) 井上 志津(いのうえ しづ)	
	文芸奨励賞	南国市 香美市		枝豆や低い目線のままで行く
	文芸奨励賞		森本 幸美(もりもと ゆきみ)	立ち枯れの父を私は笑わない
	文芸奨励賞	高知市	富士田 三郎(ふじた さぶろう)	鉛筆と同じ私はBの芯 バルまわれけなびいさまでストンかきれつ
	文芸奨励賞	土佐市立高岡第一小学校五年	森口 咲空(もりぐち さく)	ひまわりはおひさまでるとみなきりつ
	佳作	吾川郡いの町	岡林 裕子(おかばやし ひろこ) 七田 彩秀(とるた さいか)	トゲひとつ抜きたい午後の五月闇
	佳作	高知市	古田 彩香(ふるた さいか)	常道をはみだしてからひかりだす
	佳作	高知市	渡辺 倶康(わたなべ ともやす)	ほどほどに五欲の虫を飼いならす
	佳作	高知市	北川 鉄男(きたがわ てつお)	人は皆漂流物として生きる
	佳作	南国市	山﨑 光子(やまさき みつこ)	逢いたくて少女は貘を飼い馴らす
	佳作	南国市	垣内 伸(かきうち のぶ)	大河にはまだまだ遠い森の中
	佳作	高知県立日高特別支援学校高知みかづき分校		さびたねじ水をかけてもかたいまま
	佳作	土佐市立高岡第一小学校六年	門田 彩愛(かどた さら)	冬の風そっちじゃないと声がする
	佳作	土佐市立高岡第一小学校五年	松本 征慈(まつもと せいじ)	夜の海月をぬすんだ大どろぼう
	佳作	高知県立高知南中学校三年	伊勢本 志音(いせもと しおん)	ぬかづけの中に野菜も0点も